

# 総合実習

単位数（時間数）：2 単位（90 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践  
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：105

## ■ 授業概要

専門職として自主的に学び続ける姿勢を養うため、4 年間の学習を統合し、学生自らの課題意識に基づき、自らが実習目標を明確にする。また、看護実践能力を養うため、各領域の対象者に応じた計画的かつ優先順位を考慮した看護の実践や多職種で構成されるチームの中で協働する能力を高め、看護マネジメントのあり方について理解する。学生自身の課題に応じて、臨地における看護職の役割について考察できる能力を養う。

## ■ 到達目標

1. 自ら選択した施設及び対象の特徴を踏まえ、自己の学習課題に基づいて実習目標を設定できる。
2. これまで学習してきた知識・技術・態度を統合した看護実践ができる。
3. 選択した領域の対象に応じた看護を展開できる。
4. チームの一員として多職種と協働していくための看護職の役割を理解することができる。
5. 選択した施設におけるサービス提供の仕組みや組織について理解できる。

## ■ キーワード

自己の課題、看護実践能力、多職種連携、看護の役割機能、看護過程、看護マネジメント

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
<p style="text-align: center;">2024 年 9 月 24 日（火） ～ 10 月 25 日（金）</p>	<p>学生は選択した領域の実習要項に沿って実習を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間 2004 年 9 月 24 日（火）～10 月 25 日（金）のうち 2 週間</li> <li>2. 実習時間 原則として、8：30～16：00（実習方法や実習施設によって異なる）</li> <li>3. 実習方法 各領域の実習要項参照</li> </ol>	共同

## ■ 履修条件

成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習の単位を修得していること。

## ■ 成績評価方法

成績評価には、4/5以上の出席を必要とする。

各領域において実習内容やレポート等により総合的に評価する。詳細は各領域実習要項参照。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

課題やレポートは、各領域から指示され、指導教員からフィードバックがある。

## ■ 教科書

『デジタル ナーシング・グラフィカ』全巻 メディカ出版  
各領域で必要な場合は指示する。

## ■ 参考書・参考資料等

必要に応じ、各領域担当教員から提示する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

実習前後の学修については、各領域の担当教員より指示する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

4年間の集大成となる実習です。自己の実習目標を達成できるように、時間を設けて自主的に知識・援助技術の復習を行い、これまで学習した知識・技術を総合して確実なものにして臨んでください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

実習オリエンテーションの際に、連絡方法を提示します。  
各担当教員と事前に打ち合わせをし、指導を受けてください。

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師、保健師、助産師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

各施設の実習指導担当者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

担当教員は専門的な知識及び実務経験および看護系大学の教員として培った経験を活かし、学生の立案した実習目標を達成し、看護を探究する姿勢を身につけられるよう実践的な実習指導を行います。

また、各施設の実習指導担当者は、対象者の個別の状況や看護実践の場を熟知している強みを生かし、実習指導を行います。